

こがねのみ

黄金の実

作・構成演出／田中つとむ
制作／大森靖枝

黄金の実

めずらしく仕事を早く終えた大工は、家へ帰って一杯やろうと道を急ぐ。すると雨が降り出した。

やがて、雨は嵐に…。

ゴロゴロピシャーン、バリ

バリドーン。大きな楠の

木の下敷きになった

大工は、気がつく

自分の名前もわか

らない。大工の耳に

「記憶を取り戻すには黄金

の実を食べるしかない」と、

和尚様の声が響く。

どこにあるのか、どんなものかもわからない

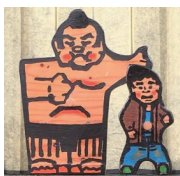
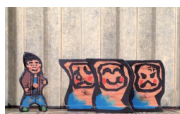
『黄金の実』を探して、西へ西へと旅に出

る。



うちわ 参加劇

きつねとためきと天狗さま



幼児から小学生、おとなまで楽しめる「黄金の実」をどうぞご覧ください。

一人芝居を創ることになったとき、自分の子どもたちが小さかった頃、毎晩のように話して聞かせた即興話を舞台化することにしました。それが「黄金の実」です。単純なストーリーの中に、生きる上での大切なもの、人生のおもしろさ、笑いなどのメッセージを込めています。

田中つとむは一九七七年、劇団風の子が幼児対象のお芝居を創るにあたって園児として幼稚園に通った一人で、三月月半の幼稚園生活の経験と演出家・関矢幸雄氏との出会いが、現在もお芝居づくりの基になっています。

上演にあたる

事前の取り組みで、表現ワークショップ（幼児～小学生向け）・演者との交流会など可能です。